



### 大震災からの復興に向けた東京エレクトロングループのアクションについてご紹介します。

このたびの東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

当社グループでは、地震発生後、直ちに社長を本部長とする対策本部を本社に立ち上げ、

現地と連絡を取りながら情報の収集および対応を進めました。

東北地域に勤務する全社員の無事を確認するとともに、各生産拠点での

復旧作業を進めて順次操業を再開しました。



### 東日本大震災からの復旧状況

- 東京エレクトロ宮城(大和町)**  
事務棟／開発棟：6月操業開始  
生産棟：10月操業開始予定
- 東京エレクトロ東北(奥州市)**  
3月17日より操業再開
- 東京エレクトロ技術研究所(仙台市)**  
3月28日より操業再開
- 東京エレクトロ宮城(松島町)**  
5月9日より操業再開



### 宇宙との交信イベント開催

2011年8月に、国際宇宙ステーション(ISS)とJAXA筑波宇宙センター、東京エレクトロ宮城株式会社本社の2会場を結び、長期滞在中の古川聡宇宙飛行士と被災地の子どもたちとのリアルタイム交信イベントを実施しました。子どもたちから寄せられた数多くの質問に古川宇宙飛行士が丁寧に回答されました。「今できることを積み重ねていけば、今日より明日はきっと良くなります」というメッセージは、参加された子どもたちの心にもきっと届いたと思います。





## 東日本大震災に関する当社グループの対応

### ■ 義援金の報告

東日本大震災による被害に対する復興支援のため、総額5億円の義援金(日本赤十字社に3億円、当社グループの事業所がある宮城県および岩手県にそれぞれ1億円)を拠出しました。

### ■ 支援物資の送付

日本全国の事業所およびグローバルな現地法人から水・食料品や生活用品の支援物資を集めて、従業員からの提供品と合わせ、東北地方の事業所に発送しました。支援物資は、当社グループ従業員およびその家族だけでなく、自治体を通じて地域の方々にもお届けしました。

### ■ 取引先さまへの対応

地震発生直後からBCP(事業継続計画)に基づき、東北6県および茨城県にある取引先さま約300社の被災状況を精査し、社内での早急な対応、代替品の調達、市場在庫の確保などを行いました。

### ■ 放射線検査の実施

海外へ出荷するすべての装置およびパーツに対し放射線検査を実施しています。測定方法はISOに準拠し、国際航空運送協会(IATA)の規則に従い判断しています。



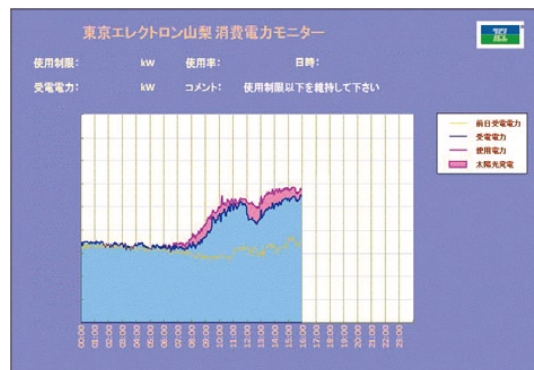
放射線の測定風景

### ■ 電力の使用制限に対する対応

山梨事業所では、2,000kWの太陽光発電システムを事業所の屋上や駐車場などに設置し、2011年7月1日より稼働を開始しました。各事業所では、高効率ターボ冷凍機・コンプレッサなどの省エネルギー性能に優れた最新の設備への入れ替え、部門別に休業日を分散させる輪番休業の導入、エレベータの停止、照明の間引き、空



山梨事業所の太陽光発電



山梨事業所の電力モニター

調温度設定変更などにより使用電力の削減に努めています。さらに、事業所内の使用電力量の「見える化」を目的として使用電力をリアルタイムでモニターし、イントラネットにデータ表示して、節電の意識高揚と活動促進に役立てています。

## TOPICS

### 太陽光発電システムの寄贈

当社グループの事業所のある被災地域(宮城県・岩手県)の行政に対して、避難所や仮設庁舎などに設置できる仮設型小規模太陽光発電システム(10kWシステムを10セット)の設置をご提案し、その寄贈を進めています。

この太陽光発電システムは、独立した基礎を必要としない簡易的な工法を用いることにより未舗装地にも設置可能で、短納期にも対応しています。また、停電時の自立運転を可能とするために、蓄電池もセットされています。



太陽光発電システムの設置イメージ